

# 会 議 録

会議の名称	第4回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開催日時	令和元年8月23日(金) (午前・ <b>午後</b> ) 2時00分 開会 (午前・ <b>午後</b> ) 4時30分 閉会
開催場所	南館中会議室
議長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出席者	<p><b>【評価委員】</b> 山本博史氏(追手門学院大学地域創造学部教授)、百瀬真友美氏(特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット)、高田和子氏(東奈良コミュニティセンター会計)、中野利絵氏(公募市民) ( 4人)</p> <p><b>【事務局】</b> 小西市民文化部次長、富崎市民協働推進課参事、三河市民協働推進課職員、中山市民協働推進課職員 ( 4人)</p> <p><b>【担当課】</b> 保健医療課、人権・男女共生課、文化振興課 ( 3課)</p>
開催形態	一部公開(傍聴者:0人) ※議題の(4)意見交換以降は非公開
議題(案件)	<p>(1) プレゼンテーションについて</p> <p>(2) 各団体によるプレゼンテーション</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 意見交換</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第</li> <li>・令和元年度 茨木市提案公募型公益活動支援事業 申請事業一覧及び申請書類 (※個人情報を含むため省略)</li> </ul>

○事務局 本日は、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ただいまより令和元年度第4回目の「茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会」を開催させていただきます。

まず始めに、山本委員長からご挨拶をいただきます。

(山本委員長 挨拶)

○事務局 本日は、板倉委員からご欠席のご連絡をいただいております。ご出席いただいた委員は4人ですので、会議は成立しております。

本日の委員会の概要をご説明申し上げます。

令和元年度の当該補助金交付団体の募集ということで、3つのテーマ設定型事業及び自由テーマ型事業について、7月1日～7月31日までの期間で募集を行いました。その結果、自由テーマ型事業8件、文化芸術振興事業3件の申請がありました。申請のあった事業については、当該評価委員会で書類及びプレゼンテーション審査を行い、その結果を意見として市に提出いたします。

合計11件を、本日23日に7件、29日に4件と2回に分けてプレゼンテーションを実施し、委員各位の評価をいただく予定としております。事業実施期間が10月1日からとなっておりますので、評価結果につきましては、プレゼン終了後にご提出いただきたいと思いますと考えております。

時間につきましては、プレゼンテーション5分、質疑5分とさせていただきます。各テーマごとに評価基準が異なりますが、選考基準点は、いずれも6割です。予算の範囲内で採択し、結果につきましては、後日ご報告させていただきます。

本日の委員会の概要説明は以上です。よろしく願いいたします。

○山本委員長 ありがとうございます。それでは、説明のありましたように、プレゼンテーション及び評価を行い、その集計結果を委員会の意見として市へ報告したいと思います。

また、会議の公開・非公開につきましては、自由な意見交換という観点から、次第の「意見交換」以降は非公開といたしたいと存じますが、いかかでしょうか？

(各委員 異議なし)

○山本委員長 それでは、プレゼンテーションを始めたいと思います。

<団体入室>

○事務局 持ち時間は5分とさせていただきます。30秒前に一度ベルを鳴らしますのでまともに入ってください、5分が経過した時点で再度お知らせしますので、終了していただきますようお願いいたします。

それでは準備がよろしければお始めください。

## <プレゼンテーション①>

テーマ：自由テーマ型事業

申請事業：【地域で学ぼう】食物アレルギー啓発事業

申請団体：LFA食物アレルギーと共に生きる会

○山本委員長 プレゼンテーションは以上です。質疑をお願いいたします。

### 【評価委員との質疑】

・収支予算書で報償費のところ、講師の謝礼医師等となっているが、まだ具体的に講師の人数等は決まっていないのか。

→申請時には決まっていなかったが、神戸女子大学の先生に来ていただくことになった。

・1人だけか。

→1～2人の予定で、場所のサイズがとれるかどうかで、一部編成にするか二部編成にするかが決まる。

・入場料400円で80人を見込んでいるが、事業計画書には人数目標150人となっている。予算を150人ではなく、80人にした理由は何か。

→何度か茨木市で講演会を開催しているが、小学生のお子さんがたくさん参加してくれていて、その方々からは入場料をとっていない。例年150人ぐらいの参加に対して80人ぐらいが小学生だったので、見込みは大人だけの人数となっている。

・昨年の冊子は遠くにも配っているようで、東京の人にもすごいねという話を聞いた。今回の事業名は啓発事業となっているが、講演会を計画しているだけに見える。予算書には冊子の費用が入っているので、冊子も含めた事業ということか。

→講演会では、その冊子を使ってお話をしていこうと思っている。パンフレットの代わりに冊子になる。

・内訳が書いていないが、部数やボリュームはどのようなものか。積算根拠を教えてください。

→前回150人だったときに200部ずつぐらいを印刷し、市内に配布したチラシが1,000部ほどある。ポスターを作成し貼らせてもらったりもしたが、前回かかった費用が8万円前後だったので、今回も85,000円の金額を入れさせてもらった。

・今後は、チラシ1,000枚というように内訳を入れてほしい。

・冊子も同じぐらいのボリュームを考えているのか。

→はい。同じようなボリュームになる予定である。

・前回の冊子は、防災がメインだったが、今回は地域のイベント等日常的な場面を想定した冊子か。

→前回の防災炊き出しの冊子の際に、基本的なアレルギーの知識と表示の仕方を書いたが、これでは足りないというお声をいただいた。これにどのように食器を洗えばいいか等を加えて改訂する。

○山本委員長 それでは、担当課に本事業に関しまして、意見をお願いいたします。

### 【保健医療課の意見】

・食物アレルギーは今まさに子どもたちの中で増えてきている。保健医療課では食育推進というものをメインで行っている。その中には当然子どもたちの食育も入っている。その子どもたちの食育の中には、食物アレルギーに対する取り組みももちろん含まれてくるが、市が行うとなるとできる範囲に限りがある。

団体の冊子等を見ると食物アレルギーに対して深く掘り下げている印象を受けた。市としてもこのような活動を応援できればと考えている。

※以下、質疑及び担当課意見のみ記載

### <プレゼンテーション②>

テ ー マ：自由テーマ型事業

申請事業：地域みんなで産み育てるパパママ準備教室

申請団体：北摂マタニティプロジェクト

### 【評価委員との質疑】

- ・既に3月から全4回の講座を行っているものと同じものを開催するのか。  
→はい。全4回違う内容をするので、全4回をすべて受講できる人だけではなく、初回を参加できなかったり、途中で出産になってしまったりするので、全4回同じ内容を繰り返して、そこに何回でも来られるようにする。
- ・今回11月からするのも全4回同じ内容をするのか。  
→はい。その中で、このようなことをしてほしいという要望を受け、マタニティ防災というものが今あまりないので、そのようなこともやっていきたい。
- ・前回は補助金無しで行ったのか。  
→はい。
- ・前回は参加費は同じ千円で講師料無しで行った分、節約していたということか。  
→はい。
- ・資料を配布するということが、同じ一冊の本を配るということか。  
→本というより、ファイルに自分たちが必要だと思う資料や、市でいただけるパパママ向けの子育て支援の冊子を入れて、一冊お渡ししている。
- ・前回はどうしたのか。  
→前回もお渡しした。
- ・20人×3回分、すべてを3回としているが、同じ方が全4回参加するなら1回で済むのではないか。  
→はい。
- ・全て3回としているが、金額が下がる可能性があるということか。

→内容が増えているものをその都度、そこに入れたりするので、1冊600円というものが全てかかるかというとかからないかもしれない。

- ・実施するのは3回か。1月12日と2月9日はどちらかに開催するということか。

→全3回ではなく、全4回である。

- ・それであれば、収支予算書も金額が変わってくるのではないか。

- ・参加費も4回とも千円か。

→はい。

- ・講師謝金6人分計上しているが、事業内容をみると7人いるのではないか。

→1月2月開催のバースプラン作成とおっぱいケアの助産師は同じ人である。

- ・第1期と第2期の参加者の人数は。

→第1期は、全4回参加したのは、3組である。ご夫婦で来られているので6人である。

第2期は、途中から参加された人もいて、5組である。

- ・今後の展開に行政機関との連携を密にしたいと記入しているが、具体的にはどのようなことか。

→助産師も参加していただくが、相談にのっていただくのが、助産師だけでなく、医療機関や保健師等、どこに連絡したらいいのか分からないので、このようなことはどうしたらいいのかということを繋がりた。

日曜日に市で行っているパパママ教室は人数が多すぎて入れなかったということをお聞きするので、入れない方々がこちらに来ていただく等のかたちがとれたらと思う。そのようなご相談をさせていただきたい。

- ・チラシ何枚を予定しているか。

→3月からの分で、チラシを2,000枚作成した。2,000枚を新中条のマンションに撒かせていただいたり、市に置かせていただいたりした。もう少し幅を広げていきたい。

- ・今回も2,000枚ぐらいか。

→はい。

- ・第2期の集客は5組ということだが、5組なら10人ということか。

→はい。

- ・第3期の20人の目標は達成できそうか。

→市の広報に載せていただいたり、病院関係にチラシを置かせていただくお願いをしたりしているので、もう少し増えてくれると思っている。

### 【保健医療課の意見】

・確かにパパママクラスはキャンセル待ちが出ている。土日開催の分はどうしても人気がある。平日はもっと余裕があるので丁寧に対応させていただいているが、やはりお仕事を休んでまでというのがあり、なかなか難しい。希望以上に人数を受け入れてしまうと、狭いところで開催するので事故があってはいけないとか安全面のこともあり定員を設けさせていただいている。

地域で受け皿となってやっていただけるのであれば、とても有難い。市が開催するものだけでなく、市民の方が色々な選択肢があることはとても良いことだと思うので、連携等は、

調整しないといけないが、頑張っていたきたいと思う。

### <プレゼンテーション③>

テ ー マ：自由テーマ型事業 申請事業：夫婦関係を考える会 申請団体：夫婦関係を考える会
--

#### 【評価委員との質疑】

- ・構成員は5名となっているが、先ほどの北摂マタニティプロジェクトと代表が同じである。先ほども構成員数5名となっていたが、メンバーは同じではないのか。  
→違います。
- ・収支予算書で7か月となっているが、毎月1回の開催であれば、6か月ではないか。  
→実際は9月12日から始まり、この補助金が10月からの事業が対象なのでこの標記になった。
- ・収入も支出も6か月になるのではないか。  
→はい。
- ・チラシ代を計上しているが、枚数は何枚ぐらいか。  
→500枚ぐらいで考えている。構成員の中の者が自分で作っているので、デザイン費等は抑えられている。
- ・デザイン代は無しということか。  
→構成員のデザインしてくれた人にはお渡ししますが、2,000円しかないので全部をとということにはならないが。
- ・事業内容が具体的に見えてこないが、毎月第2木曜日に何時間ぐらいするのか。  
→10時から12時まででお話し会をする。
- ・講師の方は決まっているのか。  
→今お願いをしているところである。
- ・事業の効果の中にイベント等の実施のための費用とあるが、これは講師代ということか。  
→お茶等も出すので、対象外経費に計上しているお茶代やお子さんたちの分です。
- ・このイベントは具体的にどのようなことするのか。  
→親子で楽しくお話し会ができるようなイベントです。子どもたちと一緒に親子で遊べるようなイベントを考えています。
- ・普段の会は講師がいて悩みを話したりする場で、このイベントは講師がいなくて遊びやゲーム等を使ってするものか。  
→10時から12時までお話し会をして、その後残っていただける方に残ってもらってと考えている。
- ・最後のチラシに10時から13時までとなっているが。  
→はい。10時から12時までお話し会で、その後、13時までイベントをする予定である。
- ・事業の効果には、補助金で実施する内容をアピールするところであるが、イベント等の実

施のための費用と記入するのであれば、それは収支予算書の中に出てこないとおかしいのではないか。

・今後の展開のところで、参加費で賄えるようになるがあるとあるが、一人1,000円の参加費であれば、講師代14万円を賄うためには140人集めないといけない。今回は参加者4人となっているが、4人を3年後に140人にすることは可能なのか。

→ニーズがあれば回数をもっと増やしたいとは思っている。

### 【人権・男女共生課の意見】

・夫婦関係を考えるということで、離婚することが目的ではなく、その人の離婚が果たしてどうなのか、離婚するとどうなるかということを具体的に説明していただくのはとても良い取り組みだと思う。

・事業内容のところにDVや虐待が疑われる場合は、市等へつなぐとあるが、今苦しんでいる方も行政に繋がるともっと楽になるということに気付かない方も多くいると思うので、このような取り組みは有難いと思っている。

### <プレゼンテーション④>

テ ー マ：自由テーマ型事業

申請事業：子ども将棋の指導

申請団体：茨木子ども将棋クラブ

### 【評価委員との質疑】

・収支予算書に将棋盤セット5セットとあるが、今はどうしているのか。

→昨年5セット購入して、あとは中古品を使っているので、できれば新しく5セット購入したい。昨年助成金をいただき、大盤を購入した。

・対象者はスタッフ4人、子ども11人とあるが、この事業としては、どのあたりをターゲットにしているのか。ご説明の中ではスタッフを増やすということがネックになっているのかと思うが、スタッフを増やすプランにも読み取れない。ねらいは何か。

→子どもを指導するスタッフが足りないが、募集は難しい。交通費を出して待遇を改善し、将棋セットを購入し古いものを新しくしたい。

・事業プランとしてボランティアの増強にもう少し絞ってもよかったのではないか。交通費の手当ては重要な要因ではあるが、それだけでボランティアが来るわけではないので、将棋ができる方を募集する、その説明会をすとか、ボランティアの将棋指導体験の事業とか、もう少しボランティアを増やすことに特化する工夫があればいいと思うのだが。

→PRする場がない。市民活動センターで募集してもほとんど来てくれない。市の広報にも載せてもらったが、子どもたちは10人ほど来たがボランティアは0人だった。人集めが一番難しく苦労している。

・子どもに将棋を教えることにやりがいを感じるような仕組みづくりや、そう思わせる仕掛けとかがあればいいのだが。

→子どもに将棋を負けたら指導できない。最低5級から有段者くらいが希望だが、なかなか集まらない。

- ・スタッフは4名だが、交通費は3名になっているが。

→全員が毎回来るわけではない。だいたい7割から8割の出席率なのでこのぐらいで計上している。

### 【文化振興課の意見】

・日本の伝統文化である将棋を子ども達に伝えるということで、次世代を担う若者を教育していく市の方針と一致しており、非常に公益性の高い活動だと思っている。お話にもあったように初心者の方が多いということで、そちらの方を定着するように工夫していただきたいと考えている。マナーや礼儀作法を身につけることを目的とされているので、青少年の健全な育成につながることも期待している。

### <プレゼンテーション⑤>

テーマ：文化芸術振興事業

申請事業：日本伝承芸能茨木市同好会 第四回発表会

申請団体：日本伝承芸能茨木市同好会

### 【評価委員との質疑】

・収入に参加者からの出演料とあるが、負担の仕方はどのようになるのか。団体でいくらということになるのか。

→分数で決めている。5分までいくら、10分を超えると5分・5分で2倍と。やはり子どもに参加して欲しいので、子ども料金を設定して、子ども達は安くしている。

- ・子どもの出演者はだいたい何人くらいか。

→20人くらいである。幼稚園から大学生まで各年層がいる。学生までは安くしている。

・昨年も応募して実施されているが、昨年の予算では62曲で773,000円となっていたのが、今年は出演料収入が635,600円に下がっている。それは子どもが増えたからか。

→分数が短くなった。前は20分踊ってくれたり15分踊ってくれたりした。長すぎることもあるなど感じたので時間制限を設けた。その分出演料が下がった。日舞の会は長いものだと思われているが、他のものは長いととられるので、時間を制約した。

- ・出演者の都合ではなく、プログラムを組んだ上でやはり短い方がと制約したためか。

→日本舞踊は特に長くなる。長くても切れないものもあるが、日本舞踊のゆっくりしたものをするわけではないので、もう少し分数を短くしようと心がけた。

- ・昨年は62曲で申請しているが、今年は曲数でいうとどうなるのか。

→ほぼ同じである。63曲になる。

- ・その中で子どもの割合が増えたか。

→子どもは1人で踊ったりするのではなく、団体で踊る。

- ・1曲の中で子どもが増えているのか。

→子どもの出演料負担を軽くするには、1人で踊るよりも数人で踊った方が安い。私達も出て欲しい、続けて欲しいという気持ちがあるので、子ども達については極力低額料金で催しに参加して欲しいと思っている。

- ・今後として、勧誘の努力をするというだけではなくて、広告料の提供者を増やしていくと書かれているが、例えば、プログラムなどに企業広告を載せるという形なのか。

→広告に関してはそういう希望もあったが、広告者に声をかける時に不備なところもあったので、やめる方向になっている。広告を出してもらうことによって、こちらもそこを使わなくてはならないというような負い目ができるのはよくないので、最初からそれはしないと。1団体でする発表会ならそういう意向があってもまとまりやすいが、11団体をまとめていくとなると、色々な意見が上がっていくのではと思っている。

### 【文化振興課の意見】

- ・伝承芸能の保存と後進の育成に尽力されており、公益性の高い事業を数多く行われていて、文化芸術と触れる感じるつながる場作りという市の方針と一致する事業であると考えている。

- ・未来に向けての担い手の育成ということで、子ども達の参加に積極的に取り込むことを、引き続き進めていただきたい。

- ・今回の申請事業は、民謡民舞をはじめとして多彩な演目を無料で公開しているので、この活動が今後もより多くの人に伝承芸能に触れてもらう機会となり続けることを期待している。

### <プレゼンテーション⑥>

テーマ：文化芸術振興事業

申請事業：茨木の魅力を未来につなぐ芸術作品（写真含む）制作及び展示発表作品による絵ハガキ作成

申請団体：茨木美術協会

### 【評価委員との質疑】

- ・絵ハガキを何種類か作られると思うが、1種類について500枚。作家さんに100枚返したとして、残りの400枚を色々な形で活用されるということだが、販売することはあるのか。

→絵ハガキを作った中で作家さんに100枚返し、できれば残りを美術協会員の中で販売したいと思っている。売れ残った場合は美術協会が補助して、最終的には茨木市の行事などの場で、市民の皆様は無償でお渡しするような形になるかと思う。

- ・販売する時は1枚いくらか。

→それは美術協会員でほとんど売れるように手配して、一人あたり20円くらい。協会負担で、1人40点で3千円。1人1作品につき100円か200円までの間で安く作りたい。

- ・ここで応募されている事業自体は絵ハガキの原画を作ってそれを展示するということまでか。

→展示して、絵ハガキまで作りたいと思っている。

- ・絵ハガキを作るところは提案事業外に見えるが。

→印刷製本の費用は実際いる。しかし、印刷製本代は美術協会の方で負担したいと思っている。その中の一部を、一作品でも提出した人には美術協会ですし負担し協力する代わりに、一点いくらかいただき補助してもらおうと思っている。一般の方、市民の皆さんにお配りするのは、ほぼ無償でお渡ししたいと思っている。

- ・それも、この原画展が終わった後の話ではないのか。

→原画展と一緒に絵ハガキを並べてみたら、いい展示会になると思う。提出させていただいたものは、印刷製本は全て美術協会で行って、足りない分は美術協会が補助をする。

- ・支出で計上している印刷製本費は原画展をするための費用ということか？

→原画展の案内ハガキやポスターである。

原画と出来上がった絵ハガキと、並べて展示したいと思っている。この作品が絵ハガキになったと展示したい。一般の市民の皆様に見ていただけるようなパンフレットやハガキも配りたいと思っている。

- ・展覧会のための計画だと思ったが、同時に絵ハガキが置いてあるのがベストである。

- ・2019年10月中にプレゼンテーション作品と美術作品を創作するというプロセスをお持ちで、その後、11月から12月にギャラリー福寿草等で、その時もプレゼンテーション作品と美術作品の絵ハガキ原画の作成とされているが、10月の作業と11・12月の作業はどう違うのか。

→10月は会員から募集する。10月までに美術協会の会員が展覧会の創作をする。その作品を集めて、展覧会の準備をするのが11月以降である。2月か3月には最終で両方の展示会をしたい。

- ・今後の展開のところで教育委員会や観光協会、文化振興課などと相談して事業の展開を考えると書かれているが、もう既にどこかとコンタクトは取っているのか。

→このようなことをするというだけで、具体的には実際には動いていない。決まったら、こういうことで動くので、関係各所に声をかけてアドバイス等をいただきたいと思っている。集まってくる作品の内容によって、働きかける場所も変わりますので、10月までに集めて、それから全体を見て働きかけることになると思う。

- ・何点くらい集まると想定しているか。

→8月末で、一旦、往復ハガキで返信をもらうところだが、50点くらいにはなるかなと考えている。その規模によっても会場を考えないといけない。

今デジタル時代であるが、アナログでこういう絵ハガキを残しておくということも、今の流れに逆らうことかもしれないが、いい記念として残ると思っている。

### 【文化振興課の意見】

- ・茨木美術協会は美術展や写真展をはじめとして、様々な取り組みで協力をいただいている団体である。今回の申請事業についても、作品の創作発表に留まらず、文化芸術を通したまちづくりという点に着目し、茨木市のもつ魅力について参加者自身が思いを寄せるきっかけになるものであり、市の方針である郷土への愛着形成に資するものであると考えている。この事業により、市民の茨木に対する誇りや地域への愛着心の形成につながることを期待して

いる。

## <プレゼンテーション⑦>

テーマ：文化芸術振興事業

申請事業：第5回楽しい親子コンサート

申請団体：一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団

### 【評価委員との質疑】

- ・50名と決めているのは、何か理由があるのか。  
→ローズホールは最大60名程度である。お金を先に預かっていないので、当日来られない方もいる。当日予約無しで来られる方と合わせると、だいたい50~70人の間で推移している。
- ・これまでも開催していて、同じ内容をするのか。  
→今まで3回このコンサートを実施していて、9月が4回目、10月が5回目で継続的に開催している。内容的には、毎回同じ奏者とはいかない。20人で回していくので、中身は曲名なども変わっていく。そのために打ち合わせをしたりするので、実際には時間も費用ももっとかかっている。  
収支予算書にはサブと書いているが、ヴァイオリンを弾いたりチェロを弾いたりというのは、プロの人たちにとってはそんなに難しいことではないが、司会をして、例えば「パプリカ」という子どもの歌を踊りながら歌うというのは簡単にはできない。その研修を含めて、謝礼として1人7000円を払う。当初1人しかできなかったが、今は3人できるようになっている。
- ・これまでも、88,630円は毎回かかっている、それを楽器店が負担していたのか。  
→はい。プロの楽団というのは、NHKにはじまり、大手の企業等、全てスポンサーがついている。やればやるだけ赤字である。その赤字を総持寺にあるアマービレ楽器が補填している。
- ・チラシに茨木市助成と入れる等してほしい。  
→チラシはもうできているが、ホームページは変更できる。当日配るプログラムもまだ直せることは確認済みなので、茨木市助成と入れることはできる。助成を受けることができれば、10月はもう少し派手に楽しく開催したい。
- ・今までと比較して公益的な場です、というものが少しくつといいかなと思う。
- ・3回目まではアマービレ楽器で負担して開催していて、9月の4回目も、支出の主な部分はアマービレが持つ。全く同じ内容で助成金でというのが少しひっかかる。  
→気持ちの問題になるが、実は今まで朝日新聞等も助成金を出している。しかし大きなコンサートでも初めに申し込んでももらえない。2回も3回もして初めて大きな助成金を受けられる。奏者の人もなかなかもらえないのだなというところで、焦心するところもあるが、今回茨木市が出してもらえらるのなら、気持ちの上で、演奏のレベルが変わる。それだけでも演奏が3倍くらい良くなる。

- ・楽譜代が1,500円×2となっているが。  
→これは確定ではなく、新しい曲となると、今まで楽団が持っていないものは買わないといけない。それがだいたい毎回今まで見るとこれくらいである。5千円の時もあれば2千円の時もある。
- ・2曲分ということか。  
→1曲の時もあれば3曲の時も。これは確定ではない。楽譜については。その曲によって変わる。いつも同じ曲ばかりしていたらいらぬが、新しい曲をしようとなると、新しい楽譜がある。みんなで譜を割ると言って、パートごとに作ってする。おそらくこれくらいかかるだろうということで計上している。
- ・補助金がついたら、こんなことができた、というオプションがついたらいいなど。例えば、指揮者体験コーナー等は従来からされているが、指揮者体験コーナーは別枠で公募しますや、楽器体験コーナーだけは費用を払わなくても無料のコーナーを作る等、今までされていたことを少し模様替えするだけでもいいのだが。  
→考えます。実際に助成の対象になれば、違うことを少しではなく、相当考える。後援もつけてもらおうかと考えている。
- ・始まる前に1曲だけロビーで誰でも聴けるようなものをするとか。知らない人でも、たまたまローズホール近くにいる人が、赤ちゃんがいてもちらっと聴けるなど。  
→それがOKなら本当にやりたい。
- ・ローズWAMは、たそがれコンサートをしていて、市民の方に募集をかけてしている。宣伝も兼ねてそれにも応募してみるのもありかと。

### 【文化振興課の意見】

・市内の幼稚園・保育園に出張コンサートをされる等、公益性が非常に高く、未来に向けた文化芸術の担い手の育成という市の方針とも一致している。親子コンサートということで、文化振興課にも小さな子どもを連れて行けるかと時々問合せがある。行きたいのに行けない方が多くおられるので、子育て世代の方を対象としたこのコンサートは非常に喜ばれるのかなど期待している。

○山本委員長　　以上で、全てのプレゼンテーションが終了いたしました。ここで10分程度、委員相互の意見交換をしたいと思います。冒頭で決定しましたとおり、これ以降は非公開といたします。

《以降、非公開》

以上